

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2012-135813(P2012-135813A)

【公開日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2011-260164(P2011-260164)

【国際特許分類】

B 2 3 K	35/363	(2006.01)
B 2 3 K	1/00	(2006.01)
B 2 3 K	3/00	(2006.01)
H 0 5 K	3/34	(2006.01)
B 2 3 K	35/26	(2006.01)
C 2 2 C	13/00	(2006.01)
C 2 2 C	12/00	(2006.01)
B 2 3 K	101/42	(2006.01)

【F I】

B 2 3 K	35/363	D
B 2 3 K	1/00	3 3 0 E
B 2 3 K	3/00	A
H 0 5 K	3/34	5 1 2 C
H 0 5 K	3/34	5 0 3 Z
B 2 3 K	35/26	3 1 0 A
C 2 2 C	13/00	
C 2 2 C	12/00	
B 2 3 K	101/42	

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

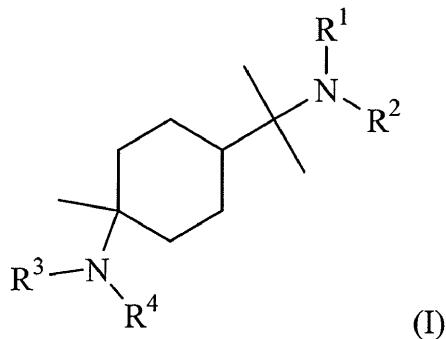
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

当初成分として式Iで表されるフラックス剤を含むフラックス組成物：

【化1】



(式中、R¹、R²、R³およびR⁴は独立して水素、置換C₁-C₈アルキル基、非置

換 C_{1-8} ₀ アルキル基、置換 C_{7-8} ₀ アリールアルキル基、および非置換 C_{7-8} ₀ アリールアルキル基から選択され、 R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 の 0 ~ 3 つは水素であり

置換 C_{1-8} ₀ アルキル基および置換 C_{7-8} ₀ アリールアルキル基における置換が、
 $-OH$ 基、 $-OR^5$ 基、 $-COR^5$ 基、 $-COR^5$ 基、 $-C(O)R^5$ 基、 $-CHO$ 基
 $-COOR^5$ 基、 $-OC(O)OR^5$ 基、 $-S(O)(O)R^5$ 基、 $-S(O)R^5$ 基
 $-S(O)(O)NR^5_2$ 基、 $-OC(O)NR^6_2$ 基、 $-C(O)NR^6_2$ 基、 $-CN$ 基、 $-N(R^6)-$ 基、および $-NO_2$ 基の少なくとも 1 種から選択され、 R^5 が C_{1-2} ₈ アルキル基、 C_{3-2} ₈ シクロアルキル基、 C_{6-1} ₅ アリール基、 C_{7-2} ₈ アリールアルキル基、および C_{7-2} ₈ アルキルアリール基から選択され、並びに R^6 が、
水素、 C_{1-2} ₈ アルキル基、 C_{3-2} ₈ シクロアルキル基、 C_{6-1} ₅ アリール基、 C_{7-2} ₈ アリールアルキル基、および C_{7-2} ₈ アルキルアリール基から選択される）。

【請求項 2】

R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 が独立して水素、 $-CH_2CH(OH)R^9$ 、および $-CH_2CH(OH)CH_2-O-R^9$ 基から選択され； R^9 が水素、 C_{1-2} ₈ アルキル基、 C_{3-2} ₈ シクロアルキル基、 C_{6-1} ₅ アリール基、 C_{7-2} ₈ アリールアルキル基、および C_{7-2} ₈ アルキルアリール基から選択される、請求項 1 に記載のフラックス組成物。

【請求項 3】

R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 の 1 ~ 3 つが水素である、請求項 1 に記載のフラックス組成物。

【請求項 4】

溶媒をさらに含み、当該溶媒が炭化水素、芳香族炭化水素、ケトン、エーテル、アルコール、エステル、アミド、グリコール、グリコールエーテル、グリコール誘導体および石油溶媒から選択される有機溶媒である、請求項 1 に記載のフラックス組成物。

【請求項 5】

無機充填剤、チキソトロープ剤および酸化防止剤の少なくとも 1 種をさらに含む、請求項 1 に記載のフラックス組成物。

【請求項 6】

艶消し剤、着色剤、脱泡剤、分散安定化剤、キレート化剤、熱可塑性粒子、UV 不透過剤、難燃剤、レベリング剤、接着促進剤および還元剤から選択される添加剤をさらに含む、請求項 1 に記載のフラックス組成物。

【請求項 7】

当初成分として
0 ~ 95 重量 % の溶媒、
0 ~ 30 重量 % の増粘剤、
0 ~ 30 重量 % のチキソトロープ剤、および
0 ~ 30 重量 % の酸化防止剤をさらに含む、請求項 1 に記載のフラックス組成物。

【請求項 8】

はんだ粉体をさらに含む請求項 1 に記載のフラックス組成物。

【請求項 9】

電気接点を提供し；
請求項 1 に記載のフラックス組成物を提供し；
前記フラックス組成物を前記電気接点に適用し；
はんだを提供し；
前記はんだを溶融させ；並びに
前記電気接点に適用された前記フラックス組成物を、前記溶融したはんだで置き換え、
前記溶融したはんだが前記電気接点との物理的接触を形成し、そして前記電気接点に結合する；
ことを含む、電気接点にはんだを適用する方法。